

関西協会ニュース

2003 年 3 月 29 日発行 第 34 号

第 2 回関西骨髄バンク支援チャリティーゴルフ大会開催

昨年暮れの 12 月 23 日（祝）奈良県天理市にあるヤマトカントリークラブに於いて第 2 回関西骨髄バンク支援チャリティーゴルフ大会が開催されました。

晴天にも恵まれ、朝靄の大和三山を望む幻想的な風景の中でスタートしたこの大会。ご参加いただいた 61 名のプレイヤーの中から見事、優勝に輝いた辻野健次さんより“喜びのボヤキ”（？）をいただきました。



『ボヤキと本音』

辻野健次（北大阪血液センター）

「ええっ！」「まさかぁ…？」名前を呼ばれた瞬間、席を立てて出て行ってよいものやら、予期せぬコールにわが耳を疑い周りを見渡した。

それは、第二部の懇親会場。河 敬世実行委員さんの挨拶、そして柴田弘俊実行委員長さんの乾杯で始まり、楽しいチャリティー・オークションから抽選会へと進み、いよいよメイン・イベントである成績発表。自分としては不本意な成績であったので「飛び賞にでも入ったら儲けもの、誰がどのくらいで優勝するのかなぁ…」と、発表を聞き入っていた。優勝なんて考えも及ばなかったが、本当にタナからポタモチが落ちてくることもあるものだ。これが W ペリアの“妙”と言うものか。23 のハンディに恵まれ、見事、優勝とあいなったのでありますが、良いスコアで回られた先輩諸兄には申し訳なく、受賞のあとは座り心地が悪かった。

思い起こせば、朝の出だしのティグランド…。早くも悪夢が待っていた。二組目の 4 番打者、ギャラリーも多いことからリキミもはいいり、実力以上を望んだせいか、気持ちとはウラハラに球は無情にも一塁のファールフライ。辛うじて白杭手前でいじらしく生き残っておった。そのいとおしい球をローカルルール 6 インチ・リプレース、安住の場にそっと置き直してやり、2 打目、「エイッ！」「ヤーッ！」「あれっ？」。その辺までは覚えているが、後はもう…。ほとんど打席は 4 番定位置をキープ。小さな球に翻弄されっぱなしの「ながぁ～い一日」であった。

しかし、何と言っても一番の喜びは柴田実行委員長さんの計らい（？）か、時間がなかったのか、はたまた初めから予定がなかったのか定かではないが、定番の“優勝の弁”を今回は言われずに済んだことであった。おまけにビッグな優勝賞品のペア・ウォッチが我が掌中に、いや、我が腕に転がり込んだことであった。まさに“ゴルフに負けて勝負に勝った”思いであり鼻歌まじりに家路を急いだ。

「かあちゃんへのみやげもできたし、ああ～今日は、ええ一日やったっ！」



ゴルフ大会成績発表

優勝	辻野健次さん
2 位	松田輝行さん
3 位 & ベストグロス賞	津田直樹さん

入賞おめでとうございます！
以下の順位につきましては
誌面の都合で割愛させていただきます

* 今大会開催にあたり、たくさんの企業・団体・個人の方からご寄付や品物のご提供をいただきました。（次ページに掲載）また、大会にご参加いただいた皆さまからの参加費とご寄付・チャリティーオークション分を含め、505,605 円の収益がありました。このうち 351,500 円は骨髄移植推進財団への寄付金とさせていただきます、残り 154,105 円を関西協会の活動費としていただきました。ご参加および協賛いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

< ゴルフ大会に協賛いただいた皆さま > (順不同・敬称略)

木本拳国プロ(ヤマトCC)・北野上知明プロ(ヤマトCC)・KLPG 研修会(女子プロ有志)・椿里佳プロ・アサヒビール株式会社・大塚製薬株式会社・東海屋・NPO 法人極真会館・株式会社ニッケイ・ミズノ株式会社・ボルボカーズジャパン大阪中央・ヤマトカントリークラブ・八洲薬品株式会社・社団法人天理青年会議所・和歌山市役所「破芝会」・第 25 回日本造血細胞移植学会会長 河 敬世・金谷俊良・木村三郎 他、個人多数

～ 協賛いただいた椿里佳プロからのメッセージ ～

初めまして、椿里佳です。
今回このような会に初めて参加させて頂く事になりました。
今まで、骨髄バンクと云うと、何か遠い世界の事の様な気がしていましたがこれを機に、ゴルフを通じて、積極的に協力して行きたいと思います。
私の夢も、皆様の夢も、信じていれば必ず道は開けると信じています。
その日が来るまで一緒に頑張っていきたいと思います。



第 2 回骨髄バンク支援チャリティー囲碁大会開催

関西骨髄バンク推進協会会長 正岡 徹

2003 年 1 月 18 日骨髄バンク支援のためのチャリティー囲碁大会が大阪府立健康科学センターで開かれました。午後 1 時の開始予定だったのですが、5 時まででは時間が足りぬ。11 時から打ち始めたい、それも私に挑戦して、気分をよくして、他の会合に行きたいという、鍋島弁護士の強硬な申し入れがあり、こちらもありがたくお受けして、11 時から食事抜きでの決戦に臨みました。それから自分の囲碁に熱中してしまって申し訳ないことですが、主催者としての責任を忘れ、関西骨髄バンク推進協会の皆さんに全くおんぶしてしまいました。ここに心からお詫びいたします。協会の皆さんも私が碁を始めてしまうともう役に立たないと諦め気分で、その後の運営は完璧にやっていたいただきました。事前申込みが 14 人で心配したのですが、当日参加の方が沢山来られて 31 人の参加となり、対局室はほぼ満席でした。



賞品はコニシ株式会社と株式会社ニッケイから大量に頂き、全勝賞から全敗賞までさしあげられました。入門講座は 8 人の受講があり、ご指導を関西電力の藤牧さんと輝星会の大地さんをお願いしました。指導碁、チャリティー作品展、即売会なども皆さんの協力で無事に終了しました。日本棋院関西総本部、関西棋院の協力をいただき、多くのボランティアの方々の手助けも受けました。ここに厚くお礼申し上げます。

『碁漫画制作中！』

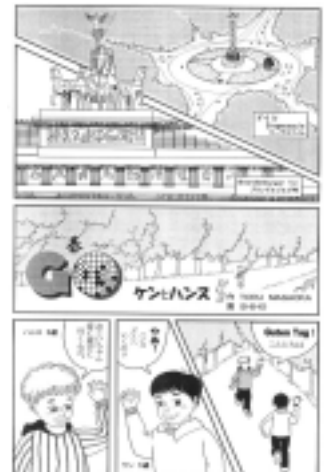
甲斐志帆

こんにちは。最近私は、とても忙しい日々を送っております。それは、骨髄バンクのチャリティーバザーの蜻蛉玉制作に加え、正岡先生からの碁のストーリーを元に、漫画を制作してほしいとのこと。漫画を描いたことのない私なので大変です。話はドイツから始まるのですが、図書館とインターネットで調べものの日々。

私事ですが、昨年 12 月に子宮癌検診で子宮内膜増殖症と診断され子宮癌ではなかったものの癌化する可能性ありと・・・。自家骨髄移植をして約 10 年、今度は子宮癌？と落ち込みましたが、正岡先生のおかげ？で落ち込んでいる暇もありませんでした。先日も、検査入院時に碁の本を持ち込んで勉強に勤めました。

検査の結果は子宮内膜増殖症さえも陰性(ー)で拍子抜けしたのですが、これも正岡先生のおかげ？か・・・。楽しんで何かに打ち込むと悪いものは、どこかに飛んでいくのでしょうか？ともかくにもよかったよかったです。

はてさて漫画はどんな風に展開していくのか？ 私ワクワク・・・。
では乞うご期待！！



～チャリティーバザー会場で誰もが足を止め、魅入られてしまう蜻蛉玉たちの作者、甲斐さん。次々とやってきた困難をバツバツとなぎ倒し、ついに漫画家としてもデビューか！？正岡&甲斐両氏のミステリアスコンビによる作品は雑誌「碁梁山泊」春号より連載開始！～

『東急スポーツオアシス江坂店でのチャリティーイベント』 加納恵美子(事務局)

2002年12月7日(土)東急スポーツオアシス江坂店において「骨髄バンクチャリティーイベント」が開催されました。今回で4回目の取組みとなるこのイベントは、エアロビクスの人気インストラクターの方たちがボランティアでレッスンをを行い、イベントの参加費などを骨髄移植推進財団にご寄付下さるという形でこれまで開催されてきました。さらに今回は「登録に結びつく形での協力を」という思いから、骨髄バンク登録やドナー体験についての話をさせていただく機会をいただきました。

取組みはインストラクター仲間を白血病で亡くしたスタッフの呼びかけをきっかけに始まったのだそうですが、スタッフの皆さんの熱意と温かなお気持ちがあふれたイベントでした。レッスン着姿でお集まりくださった参加者の皆さんも熱心に耳を傾けてくださり、その中には翌日、大阪駅前阪急グランドビルで行った集団登録会に足を運び、実際に登録して下さった方もおられました。本当にありがとうございました。

尚、後日 81,134 円のご寄付を骨髄移植推進財団へいただきました。

『阪急グランドビルでのドナー登録会』 村上耕一(運営委員)

骨髄バンク推進月間である12月、「全国一斉ドナー登録会」開催の一環として、12月8日(日)に大阪駅前阪急グランドビルにて関西協会のボランティアを中心にドナー登録会を行いました。

当日の天候は小雨もようで、呼び掛け、チラシの手交とも大変でしたが、大阪府高等学校青少年赤十字メンバーの高校生ボランティアも6名参加していただき、我々ボランティアはそれなりに盛り上がり頑張れました。結果として、当日の登録者数は予約の方も含め24名で、又、大阪府としても、残りの回数をプラスして月間138名と、月間では全国2番目に多くの登録者を受付できました。いろいろと有難うございました。

我々関西協会は、このような登録会を中心に長居競技場でのセレッソ大阪の試合などでもチラシ配布と募金活動を行っています。また機会を見つけてはチャリティーイベントを行うなどの活動をしています。まだボランティア活動に参加したことのない皆さまも、宜しければ是非一度参加してみてください。いろいろな人との出会い、会話等、又友達を見つけることも?

『チャリティーコンサート「ステージで歌いませんか」<幸>のコーラスと共に』 新名星子(運営委員)

今冬一番の寒波襲来と報道された2002年12月14日(土)午後6時より、堺市立梅文化会館大ホールで、今年もまた骨髄バンクチャリティーコンサートが開催されました。昨年に引き続き2回目の骨髄バンクチャリティーです。凍え震え上がってしまうようなお天気と、都心より小1時間もかかる現地にどれぐらいの方が集まってくださるのかと思いましたが、会場内は、音楽を愛する人と大阪音楽大学の卒業生で結成されたコーラス<幸>のメンバーの熱い想いがムンムンしていました。

玉井孝氏の名司会のもと、ピアノ、ベース、ドラムストリオのおしゃれな生のバックサウンドに乗ってレディーズコーラスの豊かなバックハーモニーが1曲1曲の雰囲気を引き立て、ステージに飛び入りで熱唱する人をこの上もなく心地良くさせます。究極の豪華絢爛「カラオケ」生ステージ版、といったところでしょうか。

バンクの広報役を今年もその小さな肩に担ってくださるおなじみの中井耀君も、今回は、姉の海里ちゃんと「おさかな天国」「大きな古時計」「亜麻色の髪乙女」「明日があるさ」などを思い切り歌いました。

啓発タイムのトークコーナーでは、会場のお客さんも去年の耀君を覚えていてくださる人たちからなのか、「3人のドナー候補者に断られた」「まだそれ以降ドナーが見つからない」「大きくなるまで生きたい」といった切実な訴えに、深い溜息がきこえ涙する姿がありました。

このコンサートのきっかけを作ってくださった富田林在住の患者さん(大阪音大卒業生の妹さん)は、今では小康を得て、フラメンコに没頭できるようになったと御報告がありました。又、この日の収益から15万円の御寄付を骨髄移植推進財団へいただきました。



『骨髓バンクドナー集団登録会 IN さかい』の報告

西村美和子(骨髓バンクを応援するさかい)

2002年12月15日(日) 堺市役所事前予約者数12名で始まった登録会。当日は10名のボランティアで、堺東駅前でチラシをまいて登録会の案内をした。予約者数が一桁の時は「目指せ!二桁!」を合言葉に、日曜日ごとのチラシまき。不況の影響で、チラシまきに参加できないメンバー。両親の介護で、休憩中のメンバー。さかいの会でも様々な問題を抱え、グループ存続の危機を感じながら集団登録会に臨んだ。4人の高校生が、初めてのボランティアで、当日のチラシまきに参加してくれたのは大きな励みになった。おかげで、登録者数は26名。初めてボランティアした感想をきいたら、「楽しかった。いろんな人としゃべれたし、初めは恥ずかしかったけど『がんばって』と声をかけてくれる人もいて、うれしかった。」と、口々に言ってくれて、これからの活動にもつながってゆくのかな?と、ちょっぴりの期待を残した登録会でした。小さな力が集まったら、大きな力になると実感した日でもありました。

『第2回高槻ダンスサミットの報告』

田代貴久(運営委員)

高槻ダンスサミットは、大阪府北部の高槻市を中心にした高校9校から集まったダンスグループ45団体が参加したダンスコンテストです。

今回は、『青少年の健全育成』『他世代へのアプローチ』『社会貢献』をコンセプトのもとに、企画・運営から資金活動まで全て高校生が執り行っています。社会貢献について考えるなか、「健康」への大切さをきっかけに、骨髓バンクへの寄付と広報を決めていただきました。

12月26日(木)当日の会場は、青春の熱気でむせ返っており、ダンスに賭ける青春甲子園の様でした。コンテストの半ばで中井耀君とお母さんが舞台上上がり入場者に向けて、ご自身の現状と骨髓バンクへの広報をして頂き、会場からは支援の拍手が起こり、子供たちの純粋な目が耀君親子に注がれておりました。会場は高校生がほとんどでしたので、登録にはまだ若すぎましたが、骨髓バンクの意義を少しは理解していただけたと確信しております。



高槻ダンスサミットで骨髓バンクの担当をされた西條由佳梨さん・松田佳与さん(おふたりとも高校1年生!)と会長であるエンターテイナーの穴戸優さんが、2月15日(土)の運営委員会の際に骨髓移植推進財団への寄付金を届けてくださり、藤岡運営委員長が受け取らせていただきました。(財団へは後日、振り込みを行いました)ありがとうございました!今後も若い視点でのご支援をよろしく願いいたします!!

『今年も「両丹日日新聞の愛の基金」戴きました』

藤岡八重子(運営委員長・骨髓献血の和を広げる会)

両丹日日新聞は、京都府中丹地区(福知山市・大江町・夜久野町・三和町)で日曜日を除き毎日発行されている新聞です。地域の情報を正確に、詳しく内容を知ることができます。骨髓バンクについては設立活動を始めた1988年頃からいろいろな内容で記事にして下さり、中丹地区の人たちが骨髓バンクのことを他の地域に比較してよくご存じなのは、両丹日日新聞のおかげです。

両丹日日新聞は、毎年地域の人たちから浄財を集め、福祉施設などに配分しておられます。任意団体の骨髓献血の和を広げる会は、毎年その配分を受け、活動資金にさせて頂いています。今年は、27万円もの配分をしていただきました。

私は、他にも援助の必要な活動があるのに特に骨髓バンクへの資金援助をお願いするとき、骨髓バンクの登録者目標30万人を本当に実現することができるのかと不安に思ってきました。しかし、福知山では人口の割に多くの登録者があり、広く一般の方からの浄財も毎年連続して頂いています。

骨髓バンクは、目標の30万人を未だ達成していません。骨髓移植推進財団の運営も患者の負担金が運営費の多くの割合を占め、普及広報はボランティアに大部分を依存している状況です。骨髓バンクの将来が不安になるとき、両丹日日新聞のように骨髓バンクの情報を繰り返し報道して頂けるメディアに感謝の気持ちで一杯です。そして、目標の達成は必ず実現すると確信します。

『住友生命保険相互会社クリスマスチャリティーバザー』 落合真里子(住友生命保険相互会社)

平成 15 年 2 月 6 日(木) 関西骨髄バンク推進協会様に、平成 14 年 12 月 19 日に弊社本社ビルにて開催されたクリスマスチャリティーバザーの売上金 7 万 5 千円を寄付させていただきました。

このクリスマスバザーは、弊社各部署が協力活動をさせていただいている 9 つのボランティア団体様へ、収益金を寄贈することを目的に行われたものです。本社部門所属の職員が一人最低 1 個の商品を提供し、昼休みや就業時間後の時間を利用してバザーを行いました。福引きコーナーを設けるなど、大変楽しい雰囲気の中多くの職員の参加で大盛況でした。

2 月 6 日の贈呈時には正岡徹先生をはじめ協会の方々総出で歓迎いただき、大切に使用いただけるとのことで、大変うれしい気持ちでした。骨髄移植が必要な患者さんの経済的負担、そしてドナーになってくださる方の血液検査の費用等、やはり経済的な問題はまだまだあるということをつかがい、今回のチャリティーバザーの寄付金を一人でも多くの方のお役に立ていただければ、と思います。これからもさまざまな形で協力させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。



2 月 6 日(木)
樋口一郎さん・落合真里子さん・
森川忠良さん・東 頼央さん・
橋本和浩さんの 5 名の皆さんが
ご寄付を届けてくださり、
正岡会長が受け取らせていただき
ました。

～ 住友生命保険相互会社の皆さんには、これまでドナー登録会への協力(関西協会ニュース第32号に関連記事)などのご支援をいただいております。今回もお気持ちのこもったご寄付をお届けくださりましてありがとうございました。今後とも骨髄バンク事業へのご支援をどうぞよろしくお願ひいたします! ～

『NECシステムテクノロジー株式会社でのボランティアセミナー』 西村善美(事務局)

大阪ボランティア協会(企業市民活動推進センター)からのご紹介で、NECシステムテクノロジー株式会社でのボランティアセミナーにて、『骨髄バンク』を取り上げて頂きました。

2 月 27 日(木) 14 時から 2 時間、骨髄バンクとは?(西村) ドナー体験談(金澤伸昭さん) 患者家族からのメッセージ(藤岡)の 3 部構成で、講演をしました。

各部署の社会貢献担当の方を中心に、約 50 名の皆様が、とても熱心に聴いて下さいました。

ドナー体験談をお話頂いた金澤さんは、以前、サンヨー株式会社にて取組んで頂いたセミナーの際に、藤岡運営委員長の講演を聴いてドナー登録されたそうです。今回、その金澤さんの講演を聴いて、早速ドナー登録の予約をして下さった方がいらっしやるとお聞きしました。「命への想い」が、人から人へと繋がり広がっていくことの素晴らしさを実感できたセミナーでした。

『関西電力労働組合における献血併行型ドナー登録会』 西村善美(事務局)

関西電力労働組合は、平成 5 年度から、広く社会に目を向けた活動の一環として、骨髄バンク事業の普及・拡大運動に取組んで下さっています。関西協会では、関西電力労働組合の各支部で行われている献血会場で、骨髄バンクドナー登録も併せて取組んでいただければ、働きかけを行って来ました。平成 13 年の秋から、兵庫姫路地区でスタートし、この冬には、大阪と奈良で、献血併行型ドナー登録会の開催が実現しました。赤十字血液センター・骨髄データセンターのご協力を得て、大阪 16 会場、奈良 3 会場で開催され、169 名の方にドナー登録いただくことができました。

各会場の受付では、支部の執行部の方が、献血に来られた組合員の方々に、「骨髄バンクのドナー登録について、説明だけでも聞いてみませんか?」「この機会にドナー登録しませんか?」などと、声をかけて下さいました。登録された方からは、「以前から、登録しようと思っていたが、機会がなかった。」「献血と一緒に登録できて良かった。」などの声をいただきました。関西電力労働組合の皆様方、本当にお世話になりました!

(他の地区も、今年の春以降、献血併行型ドナー登録会の取組みを予定して下さっています。)

骨髄バンクニュースダイジェスト

(骨髄移植推進財団発行のマンスリーレポート 12~3月号より)

1. 第 13 回、第 14 回「造血細胞移植委員会」報告 (12月)

第 13 回 (11 月 22 日)、第 14 回 (12 月 13 日) の上記委員会において、造血細胞移植 (臍帯血、骨髄、末梢血幹細胞) の現状と今後について論議されました。末梢血幹細胞移植では非血縁ドナーを、当財団が仲介斡旋する方針が基本的に了承されました。今後、実施にあたっての具体的な問題点を明らかにし、当財団の関連委員会での審議検討、造血細胞移植委員会、行政担当と調整を行うこととなります。

2. 患者さんへのコーディネート状況説明を開始します (12月)

当財団では、患者さんの具体的なコーディネート状況を毎週土曜日 (ドナーがいない場合は月に一度) 主治医へ報告しておりますが、2003 年 1 月 14 日より、患者さんとそのご家族に対し、電話の問合せがあれば、お知らせすることになりました。お問合せ先は 骨髄移植推進財団「患者問い合わせ窓口」電話：03 - 3296 - 8699。この説明は、医師への報告とのタイムラグによる相違があることや、ドナーコーディネート終了 (中止) 理由はお知らせしないなどの点がありますことを、ご承知おきください。

3. ドナー適格性基準が変更になります (12月)

当財団では、ドナーの方の健康と安全を最優先する観点から、コーディネート、採取での「ドナー適格性判定基準」というガイドラインを設けています。この度、過去の事例をもとに現行基準の全面見直しを行い、2003 年 1 月から改訂することとなりました。

4. 医師向けページが開設しました (12月)

登録責任医師の皆様を主な対象として、患者さんのコーディネートに役立つ情報をお届けするため、当財団ホームページ上に「医師のページ」を開設しました。なお、このページはどなたでもご覧いただくことが可能です。(http://www.jmdp.or.jp/pt/index.html)

5. 平成 15 年度政府予算概要、骨髄バンク補助金額は大幅に増額へ (1月)

6. 平成 15 年度税制改正「骨髄バンク患者負担金が医療費控除の適用」へ (1月)

平成 15 年度の税制改正で、骨髄バンクなど造血幹細胞移植のあっせんに係る患者負担金の医療費控除が適用されることになりました。これらの移植を受けるために必要なあっせん業務に係る費用の位置付けを明確化した上で、15 年所得より医療費控除が適用するとしています。

7. 台湾骨髄バンクの患者負担金が改定されます (1月)

2003 年 2 月 1 日より、台湾骨髄バンク (Buddhist Tzu Chi Stem Cells Center = BTCSCC) の患者負担金が改定されます。新料金表は当財団のホームページ (医師のページの海外骨髄バンク患者負担金) に掲載いたしますので、ご確認ください。(http://www.jmdp.or.jp/pt/kaigai/index.html)

8. 「末梢血幹細胞移植 (血縁者間) ドナーが白血病を発症」の報道について (2月)

2 月 10 日 (月)、「兄弟間での末梢血幹細胞移植 (PBSC T) の提供者 (ドナー) が昨年 11 月に白血病を発症し死亡。白血球増殖因子・G-CSF 投与による影響か?」というニュース報道がありました。現在、骨髄バンク (非血縁者間) では、末梢血幹細胞移植はまだ採用していません。実施する場合の検討に入る時期にきておりましたが、こうした事態を受け、国の審議会での論議、学会の調査等を見守りつつ、慎重に検討を行っていく予定です。

9. 説明・採血分離方式いよいよ始動。申込書持参で全ての献血会場で登録可能に (3月)

本年 4 月より、骨髄ドナー登録の事前説明会で説明を受け「登録申込書」の記入内容を説明担当者 (財団職員または地区普及広報委員、説明員) が確認した登録希望者は、全国の全ての献血会場 (血液センターや献血ルームなどの固定窓口、移動献血バスを含む) で登録採血ができるようになります。

これまでの、集団登録会、献血併行登録会に加え、説明だけを行う分離方式の「事前説明会」が位置付けられることとなります。

10. ミニ移植、中高齢者への対応について (3月)

移植医療技術の進歩により、骨髄非破壊的な前処置を減量した造血幹細胞移植、いわゆる「ミニ移植」と言われる方法が、欧米から始まり国内でも血縁者間において急速に広まっています。

3 月 15 日 (土) に開催された当財団医療委員会において、「当財団では非血縁者間骨髄移植の前処置の内容について制限や規制、規定等は設けていない」ことが確認され、「ミニ移植は、患者・主治医で前処置方法を検討し実施しても差し支えない」とされ、各施設、主治医に通知されることになりました。

お問い合わせは・ 骨髄バンクフリーダイヤル 0120 - 445 - 445

日本骨髄バンク骨髄提供登録者 (ドナー)・骨髄移植希望者登録状況 (2003 年 2 月末現在)

	全国	関西	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
ドナー登録者数 (2 月末)	167,263	24,359	1,627	4,358	9,708	6,047	1,548	1,071
移植希望者登録数 (2 月末)	2,051	224	12	30	95	61	13	13

各地の活動報告

12月

- 12/15 堺市役所にて登録会（関西・さかい）
- 12/15 栗東市にて「休日ドナー登録会」（滋賀）
- 12/17 関西電力労働組合扇町・北支店支部登録会（関西）
- 12/19 関西電力労働組合岸電支部登録会（関西）
- 12/21 深尾真美さん（マソソナ）講演会：信楽町主催（滋賀）
- 12/23 第2回関西骨髄バンク支援チャリティーゴルフ大会
- 12/25 関西電力労働組合岸和田支部登録会（関西）

1月

- 1/7 和歌山県庁にて献血併行型登録会（和歌山）
- 1/9 関西電力労働組合吹田支部登録会（関西）
- 1/9 亀岡市保健センターでの登録会（和の会）
- 1/12 「成人式」にてティッシュ・リーフ配布（和歌山）
- 1/14 関西電力労働組合小曽根支部登録会（関西）
- 1/14 園部総合庁舎での登録会（和の会）
- 1/15 関西電力労働組合枚方支部登録会（関西）
- 1/16 関西電力労働組合三国支部登録会（関西）
- 1/18 第2回骨髄バンク支援チャリティー囲碁大会（関西）
- 1/19 御坊保健所管内での「休日ドナー登録会」（和歌山）

1/29 全日空ゲートタワーホテル登録会（関西）

2月

- 2/3 関西電力労働組合南支店支部登録会（関西）
- 2/4 綾部ゲンゼでの登録会（和の会）
- 2/8-9 「堺刃物まつり」にてチラシ配布（さかい）
- 2/10 雑誌『いきいき』3月号に神山さんの活動紹介（滋賀）
- 2/13 関西電力労働組合守口支部登録会（関西）
- 2/15 運営委員会（関西）
- 2/18 亀岡市農協での登録会（和の会）
- 2/19 関西電力労働組合本店社屋支部登録会（関西）
- 2/22 和歌山市保健所での「休日ドナー登録会」（和歌山）
- 2/23 新宮保健所での「休日ドナー登録会」（和歌山）
- 2/27 NEC システムテクノロジー株式会社にてセミナー（関西）

3月

- 3/2 奈良県骨髄データセンターにて「休日ドナー登録会」（奈良）
- 3/9 新宮保健所古座支所での「休日ドナー登録会」（和歌山）
- 3/14 守口市駅前にて献血併行型ドナー登録会（関西・大阪）
- 3/15 『和の会通信』（特集：患者の声）発行（滋賀）
- 3/16 湯浅保健所での「休日ドナー登録会」（和歌山）

ドナー登録会の報告

12月～3月 当協会・加盟団体分

年	月	日	曜	実施形態		場所	登録者数
2002	12	2	月	献血併行(職域)	奈良	関西電力労働組合 奈良支店支部	5
2002	12	3	火	献血併行(職域)	奈良	関西電力労働組合 奈良支部	1
2002	12	4	水	献血併行(職域)	大阪	関西電力労働組合 東大阪支部	7
2002	12	4	水	献血併行(職域)	大阪	関西電力労働組合 東住吉支部	4
2002	12	8	日	集団登録	大阪	阪急グランドビル	24
2002	12	10	火	献血併行(職域)	奈良	関西電力労働組合 奈良高田支部	2
2002	12	11	水	献血併行(職域)	大阪	関西電力労働組合 我孫子支部	7
2002	12	15	日	集団登録	大阪	堺市役所高層館	26
2002	12	17	火	献血併行(職域)	大阪	関西電力労働組合 扇町・北支店	36
2002	12	19	木	献血併行(職域)	大阪	関西電力労働組合 岸電支部	16
2002	12	20	金	献血併行	京都	綾部	1
2002	12	25	水	献血併行(職域)	大阪	関西電力労働組合 岸和田支部	18
2003	1	7	火	献血併行	和歌山	和歌山県庁	5
2003	1	9	木	献血併行(職域)	大阪	関西電力労働組合 吹田支部	18
2003	1	9	木	献血併行	京都	亀岡市保健センター	3
2003	1	14	火	献血併行(職域)	大阪	関西電力労働組合 小曽根支部	6
2003	1	14	火	献血併行	京都	園部総合庁舎	5
2003	1	15	水	献血併行(職域)	大阪	関西電力労働組合 枚方支部	5
2003	1	16	木	献血併行(職域)	大阪	関西電力労働組合 三国支部	13
2003	1	19	日	集団登録	和歌山	御坊保健所	7
2003	1	29	水	献血併行(職域)	大阪	全日空ゲートタワーホテル	7
2003	2	3	月	献血併行(職域)	大阪	関西電力労働組合 南支店支部	7
2003	2	4	火	献血併行	京都	綾部ゲンゼ	0
2003	2	13	木	献血併行(職域)	大阪	関西電力労働組合 守口支部	7
2003	2	18	火	献血併行	京都	亀岡市農協	0
2003	2	19	水	献血併行(職域)	大阪	関西電力労働組合 本店社屋支部	8
2003	2	22	土	集団登録	和歌山	和歌山市保健所	6
2003	2	23	日	集団登録	和歌山	新宮保健所	7
2003	3	2	日	集団登録	奈良	奈良県骨髄データセンター	14
2003	3	9	日	集団登録	和歌山	新宮保健所古座支所	8
2003	3	14	金	献血併行	大阪	守口市駅前(守口ライオンズクラブ)	12
2003	3	16	日	集団登録	和歌山	湯浅保健所	22

心よりのご寄付に感謝申し上げます

2002 年 11 月 26 日～3 月 10 日(敬称略・順不同)

個人寄付

大久保邦昭	10,000 円	河口研仁	3,000 円	杉本昭仁	5,000 円
金澤鐘揚	14,000 円	西田淳子	5,000 円	和田昭人	4,000 円
今西みき子	30,000 円	とんぼ玉グループ	24,270 円	井上春枝	5,000 円
運営委員会有志	520 円	伊吹吉弘	3,000 円	森下正	5,000 円
政本康子	3,000 円	馬売朝子	3,000 円	西村義之	2,000 円
安堂ほうが	3,000 円	川端悦子	3,000 円	堤道治	10,000 円
広瀬繁美	3,000 円	甲斐正彦	5,000 円	匿名	1,300 円
兼田利治	4,000 円	塚原久子	18,000 円	匿名	740 円
中畑龍俊	3,000 円	中野裕子	3,000 円	匿名	2,000 円
白壁歌子	3,000 円	山本あい子	10,000 円	バザー用物品	有志多数

団体寄付

骨髓献血の和を広げる会	100,000 円	土師商友会	10,000 円
円覚寺	10,000 円	住友生命保険相互会社	75,000 円
ブリistol製薬(有)	50,000 円	大阪梅田中央ライオンズクラブ	100,000 円
第 6 回オープントーナメント全日本マスターズ選手権大会	68,156 円		

* 前号(第 33 号)の団体寄付欄に記載漏れがありました。ここに掲載させていただき、心よりお詫び申し上げます。

国際ソロプチミスト大阪 難波 10,000 円

団体賛助会費

国際ソロプチミスト伊丹	10,000 円	小野ロータリークラブ	10,000 円
舞鶴ライオンズクラブ	10,000 円	国際ソロプチミスト枚方 - 中央	10,000 円
尼崎ライオンズクラブ	10,000 円	和歌山中央ライオンズクラブ	10,000 円
豊岡ロータリークラブ	10,000 円	(株)柏原工務店	10,000 円
医誠会京都ルネス病院	10,000 円	兵庫医科大学血液・腫瘍科	10,000 円
滋賀県歯科医師会	10,000 円	国際ソロプチミスト京都	10,000 円

助成寄付金

(有)ダイワ通販 9 月 23,348 円 (有)ダイワ通販 10 月 27,672 円 (有)ダイワ通販 11 月 26,262 円

皆様の心よりのご寄付をお待ちしております。

お振込先 りそな銀行 本店公務部 普通 3652502 関西骨髓バンク推進協会 事務局
郵便口座 00970-3-64270 関西骨髓バンク推進協会

お知らせ

関西骨髓バンク推進協会は現在、NPO 法人格取得にむけて申請手続きを行っています。
次号(7 月発行予定)には、2002 年度の活動報告及び 2003 年度の活動方針を掲載予定です。
今後とも関西骨髓バンク推進協会をご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

各会ではボランティアを募集しております

- * 骨髓バンクを応援するさかい TEL&FAX:072-273-0992
- * 骨髓献血の和を広げる会 TEL&FAX:0773-27-7693
- * 大阪骨髓献血の和を広げる会 TEL&FAX:06-6349-2002
- * 和歌山骨髓献血の和を広げる会 TEL&FAX:073-451-9528
- * 滋賀骨髓献血の和を広げる会 TEL&FAX:0748-83-0259
- * 奈良造血幹細胞移植を支援する会 TEL&FAX:0743-57-8050

関西骨髓バンク推進協会 TEL&FAX 06-6977-2123

〒537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3 大阪府立成人病センター第三部長室内

E-mail : kankyo@mtc.biglobe.ne.jp URL : http://www5c.biglobe.ne.jp/~marrow/